

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成25年1月分)

ご協力ありがとうございました。平成25年1月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 162社 回答 155社 回答率 95.7%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	8社 5.2% (3.9)	21社 13.6% (11.0)	63社 40.9% (36.4)	42社 27.3% (25.3)	20社 13.0% (23.4)	154社	7社 4.6% (5.4)	27社 17.8% (10.1)	41社 27.0% (28.9)	40社 26.3% (28.2)	37社 24.3% (27.5)	152社
売上高	8社 5.2% (3.2)	23社 14.8% (13.0)	62社 40.0% (33.8)	37社 23.9% (27.9)	25社 16.1% (22.1)	155社	5社 3.3% (5.4)	20社 13.2% (10.1)	41社 27.0% (28.9)	38社 25.0% (28.2)	48社 31.6% (27.5)	152社
在庫数量	4社 2.7% (2.0)	27社 18.1% (8.8)	79社 53.0% (61.5)	31社 20.8% (25.7)	8社 5.4% (2.0)	149社	10社 6.8% (4.9)	24社 16.3% (14.8)	57社 38.8% (43.0)	31社 21.1% (23.2)	25社 17.0% (14.1)	147社
販売単価	2社 1.3% (0.7)	21社 14.0% (4.0)	108社 72.0% (73.3)	18社 12.0% (20.0)	1社 0.7% (2.0)	150社	2社 1.4% (1.4)	9社 6.1% (4.1)	51社 34.5% (31.0)	60社 40.5% (40.0)	26社 17.6% (23.4)	148社
収益状況 (粗利)	2社 1.3% (2.0)	23社 15.1% (5.3)	77社 50.7% (50.0)	37社 24.3% (26.3)	13社 8.6% (16.4)	152社	8社 5.3% (6.8)	12社 8.0% (9.5)	51社 34.0% (29.9)	48社 32.0% (33.3)	31社 20.7% (20.4)	150社
稼働率 (生産・加工設備)	4社 3.2% (3.2)	15社 11.9% (6.5)	66社 52.4% (49.2)	29社 23.0% (23.4)	12社 9.5% (17.7)	126社	6社 4.9% (3.4)	13社 10.6% (11.9)	49社 39.8% (39.8)	31社 25.2% (28.0)	24社 19.5% (16.9)	123社
入出庫の トラック台数	3社 2.1% (1.4)	17社 11.6% (6.9)	80社 54.8% (49.3)	36社 24.7% (28.5)	10社 6.8% (13.9)	146社	1社 0.7% (2.1)	17社 11.6% (13.5)	63社 42.9% (39.7)	42社 28.6% (29.1)	24社 16.3% (15.6)	147社
	現在の景況感					149社	3ヶ月後の景況予測					144社
	1社 0.7% (0.7)	12社 8.1% (7.1)	69社 46.3% (41.8)	46社 30.9% (27.7)	21社 14.1% (22.7)		5社 3.5% (2.9)	61社 42.4% (36.4)	68社 47.2% (48.6)	6社 4.2% (8.6)	4社 2.8% (3.6)	
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査（1月） 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適切な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載していません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 需要不振の中で、メーカーに値上げ発表が出揃い、市況は下げ止まっている。ただし、値上げの額、時期についてはバラツキがあり、流通の値上げ転嫁も容易ではない。与信環境も最悪の中ではあるが、過去2年の値上げ失敗を繰り返さないためにも流通の役目を果たしたい。
- ② 先高感の影響が若干出ているが、汎用品は市中でまだ拾える。円安の影響で輸入材に歯止めが掛かると良いが、国内ミルも値上げに転じており、予測が難しい。
- ③ 年明け、荷動きに変化無し。メーカー値上げのアナウンスから仮需を警戒していたが動き無し。
- ④ 稼働日が前月比4日増となり、数量、売上ともに上昇。単価は底打ち感を確認するも、上伸力は乏しく、メーカーの値戻しの発表にも仮需といえるほどの動きは出て来ていない。大型補正予算の執行と新年度の財政積極施策により、まずインフラ関連の補修や防災関連は、引合い、見積りを含め期待できそう。太陽光架台は、各社入り乱れて、数量出て来ているが、納期、単価、品質ともにかなりユーザーの要求が厳しい。電力の買取り価格が、来年度以降に遡減される中で、ここ2年程度内の需要は底堅く推移しそう。新工法の開発発表も相次ぎ、初期投資額(コスト)は頭打ち、低減は確実で、利益確保には苦労しそう。
- ⑤ アベノミクスの影響による景気回復期待感は膨らみつつあり、物流拠点強化等の建築物の動きは活発化している。鋼材等の値上げの動きも出始めているが、需要が並行して追従できるか懸念するところである。需要動向は各産業でまだ模様となっており、早く価格上昇トレンドの基調に乗って欲しい。
- ⑥ 店売り、自動車を含めて販売量が低迷。自販分は是正も含めて適切な販売価格を目指す。

中板

- ① 先月は、高炉、電炉ともに値上げ発表があり、先高感から仮需が入る。販売単価の値上げを唱えても、一部で安値情報もあり厳しい。市場は、今後の需要増に期待。陥没価格の早期是正が当面の課題。

厚板

- ① 春先以降は、補正予算による上積み期待されるものの、足下は鉄骨、橋梁とも引き続き低レベルで推移している。高炉が需要回復を追い風に、陥没価格是正に力強く動いたことから、今後、販売価格の立て直しに伴い、採算改善に向けて期待が持てる。

— 舟安開金岡

- ① 今年は例年に比べて正月休みが多く、営業日数は4日減となるも、売上数量、粗利は横這いで堅調傾向。ただし、売上高は、販売単価が未だ回復せず、前月比減。当面の荷動きは、更なる好転はなくても現状続行の気配はある。来たる4～6月期も去年よりは好転推移するだろう。

EH形鋼

- ① 1月後半から引合い、荷動きともに若干落ち込んでいるが、値上げ玉が入荷しているので販売価格は上昇している。メーカーの3月売り出し価格も値上げが予想されるので、流通は更なる市況上昇を目指すしかない。
- ② メーカーネットの上げスピードに市況が追いつけるのか心配である。メーカー、流通ともに、ここは量を求めるのではなく、我慢が必要である。

異形棒鋼

- ① メーカーは、段階的に値上げを実行。市中も底堅い様子。店売りも、締め後には応分の値上げを行いたい。
- ② メーカーの値上げが大幅かつ急激なため市況価格の押し上げがついて行けない。荷動きもやや後退しており、流通としては採算確保のために、販売価格の値上げ努力している。

平鋼

- ① メーカーの連続値上げに伴い、値戻しを実施。一回目の価格転嫁は浸透しつつある。建築、土木関係の期待感もあり、若干の仮需も発生しているが、足下の荷動きはいまひとつ。先々の需要に期待している。

鋼管

- ① 通常、1月は売れない月であるが、今年は後半の追い込みがあり、結果としては良かった。
- ② 現況に余り変化はないが、先行きは好転が期待できそうである。

構造用鋼

- ① 需要環境は、自動車関連の減速が続いており、建設機械や産業機械関連についても低迷が長期化している。一部で回復の動きもあるが、春先以降の不透明感は強い。店売りについては、実需が冷え込む中、荷動きが低調な状況が続いている。市況については、メーカーは値上げを発表したが、需要低迷が続き回復がみられない中、横這いで推移している。
- ② 引き続き実需は低位で推移しながらも、年明けの円安、株高の好環境に期待。建機も在庫調整を終え、3Qが底と見られている。
- ③ アベノミクスに期待。円安効果が相当あると思う。

その他

<曲げ加工>

- ① 年明けの前半は好調であったが、後半20日以降は受注単位が細かく、急激に売上、加工量が減少。前月と同様に横ばい状態。市場そのものもまだ冷え込んだ状態で、いまひとつ活気が見られない。果たして、小企業にいつ光が当たるのか辛抱のしどころか。

<スクラップ>

- ① 正月休み明けから東鉄の値上げがあり、月末までに10%弱上がる。先行していた浜値は、1月中旬以降、様子が変わり、荷止、荷制限が見られた。発生は稼働日数も少ないので激減。

<金属表面処理加工>

- ① 1月は、当初より高操業を予想していたが、紐付き材の工程進捗が若干遅れたこともあり、2月へスライド。引合いは年始より、小口ではあるが活発な状況となり、予定通りの成約となる。2月はスライド分を含め、1月同様の扱量にて推移すると予想。